

投資家の皆様へ

大和工業のご紹介

鉄で未来を 未来の鉄を

Yamato

東証1部【証券コード5444】

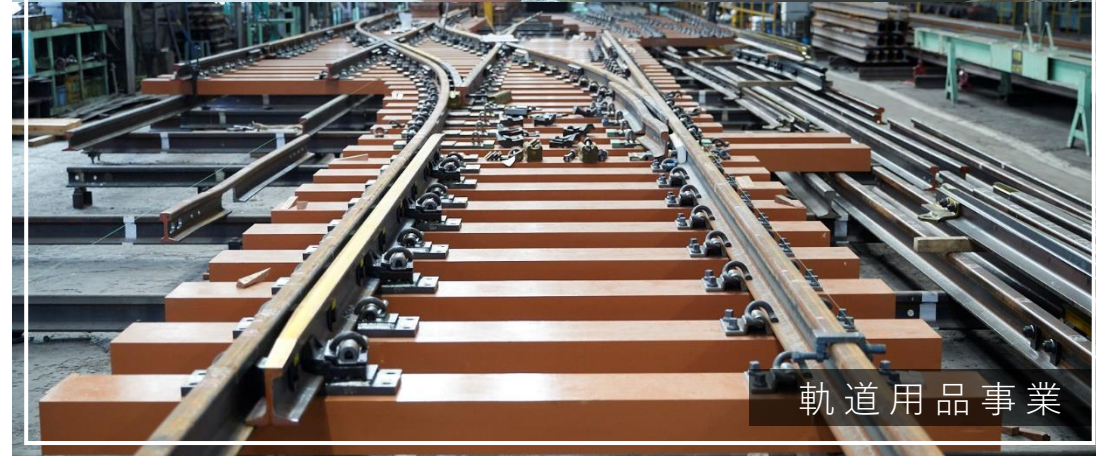
2021年8月



鉄鋼事業



重工事業



軌道用品事業

CONTENTS

01

会社概要

Company Introduction



02

事業紹介

Our Business



03

海外戦略

Our Global Strategy



04

財務情報

Financial Information



CONTENTS

会社概要

Company Introduction



01

02

事業紹介

Our Business



03

海外戦略

Our Global Strategy



04

財務情報

Financial Information





上場会社名 : 大和工業株式会社
(国内外のグループ事業会社を管理・統括する持株会社)

業種 : 鉄鋼会社

設立 : 1944年11月8日

資本金 : 80億円

連結売上高 : 1,360億円 (2021年3月期)

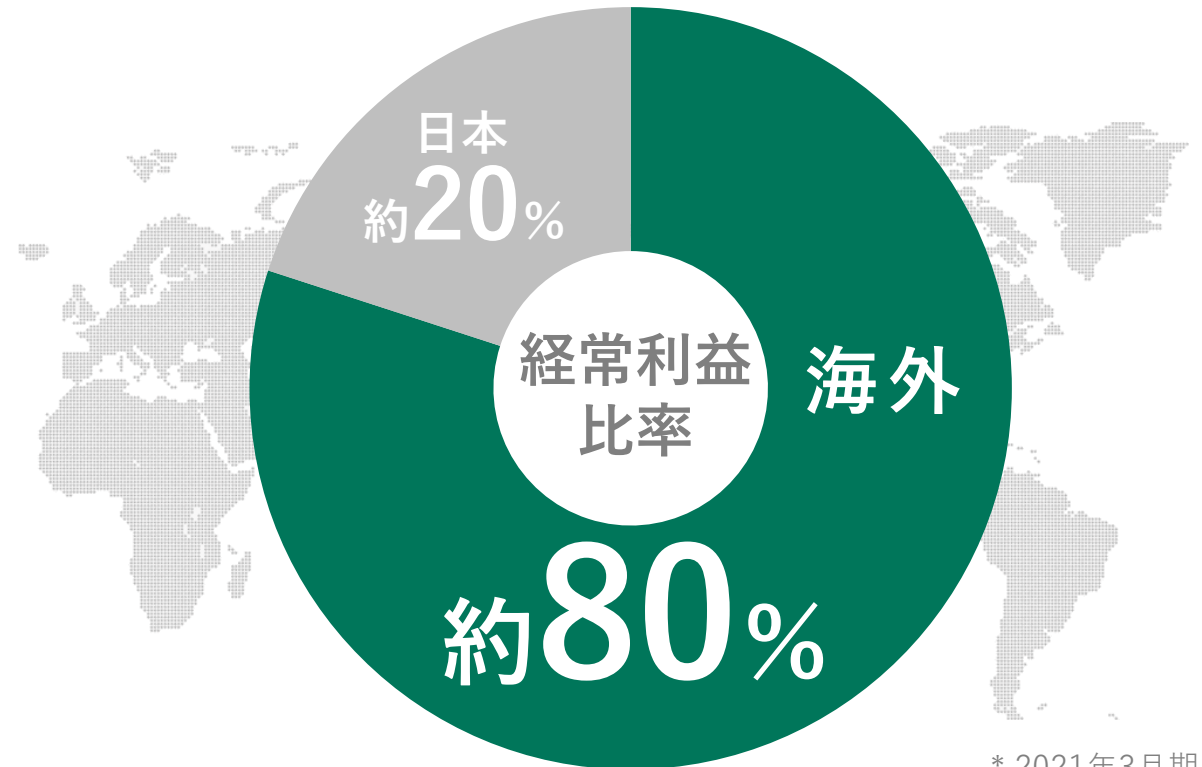
国内の電炉メーカー*の中でも、1980年代にいち早く**海外展開し事業を拡大**

* 鉄スクラップを電気のアーク熱で溶解し、鉄鋼製品にリサイクルする企業 生産方法の詳細はP.14~17をご参照ください

1987年



1944年



* 2021年3月期

建設用鋼材を中心とした鉄鋼製品の製造・販売を世界 **7カ国** で展開する企業グループ

グループ従業員数：約4,200名(持分法適用会社含む)



社名

- ①国・所在地
- ②出資比率
- ③合弁パートナー
- ④主な製造品種
- ⑤条鋼製品生産能力（圧延力）

YK Steel Corporation*

- ①韓国 釜山広域市沙下区
- ②49% 持分法適用会社
- ③大韓製鋼
- ④棒鋼（鉄筋）
- ⑤85万ton



大和軌道製造株式会社

- ①日本 兵庫県姫路市
- ②100% 連結子会社
- ③—
- ④鉄道軌道用品
- ⑤—



ヤマトスチール株式会社

- ①日本 兵庫県姫路市
- ②100% 連結子会社
- ③—
- ④形鋼
- ⑤70万ton



United SULB Company (Saudi Sub)LLC

- ①サウジアラビア ジュバイル
- ②49% 持分法適用会社
- ③Foulath
- ④形鋼
- ⑤40万ton



Nucor-Yamato Steel Company

- ①米国 アーカンソー州
ブライビル
- ②49% 持分法適用会社
- ③Nucor
- ④形鋼
- ⑤230万ton



SULB Company BSC(c)

- ①バーレーン マナーマ
- ②49% 持分法適用会社
- ③Foulath
- ④形鋼
- ⑤60万ton



Siam Yamato Steel Co., Ltd.

- ①タイ バンコク
- ②64.18% 連結子会社
- ③Siam Cement
三井物産 住友商事
- ④形鋼
- ⑤110万ton



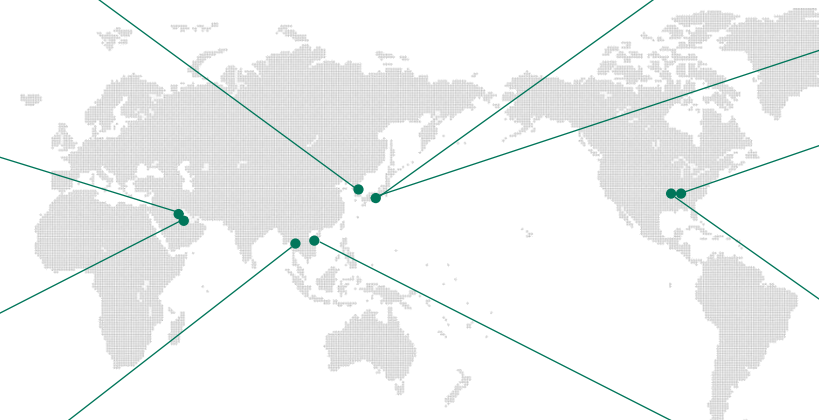
POSCO YAMATO VINA STEEL JOINT STOCK COMPANY

- ①ベトナム
バリア=ブンタウ省フーミー
- ②49% 持分法適用会社
- ③POSCO
- ④形鋼
- ⑤50万ton



Arkansas Steel Associates LLC

- ①米国 アーカンソー州
ニューポート
- ②50% 持分法適用会社
- ③住友商事
- ④タイプレート
- ⑤—



*JVパートナーである大韓製鋼社との連携強化に向け、出資比率を【大和:49%・大韓:51%】から【大和:30%・大韓:70%】に変更する契約を2021年8月2日に締結しております。詳細は2022年3月期第1四半期決算短信をご参照ください。

CONTENTS

01

会社概要

Company Introduction



事業紹介

Our Business



02

03

海外戦略

Our Global Strategy

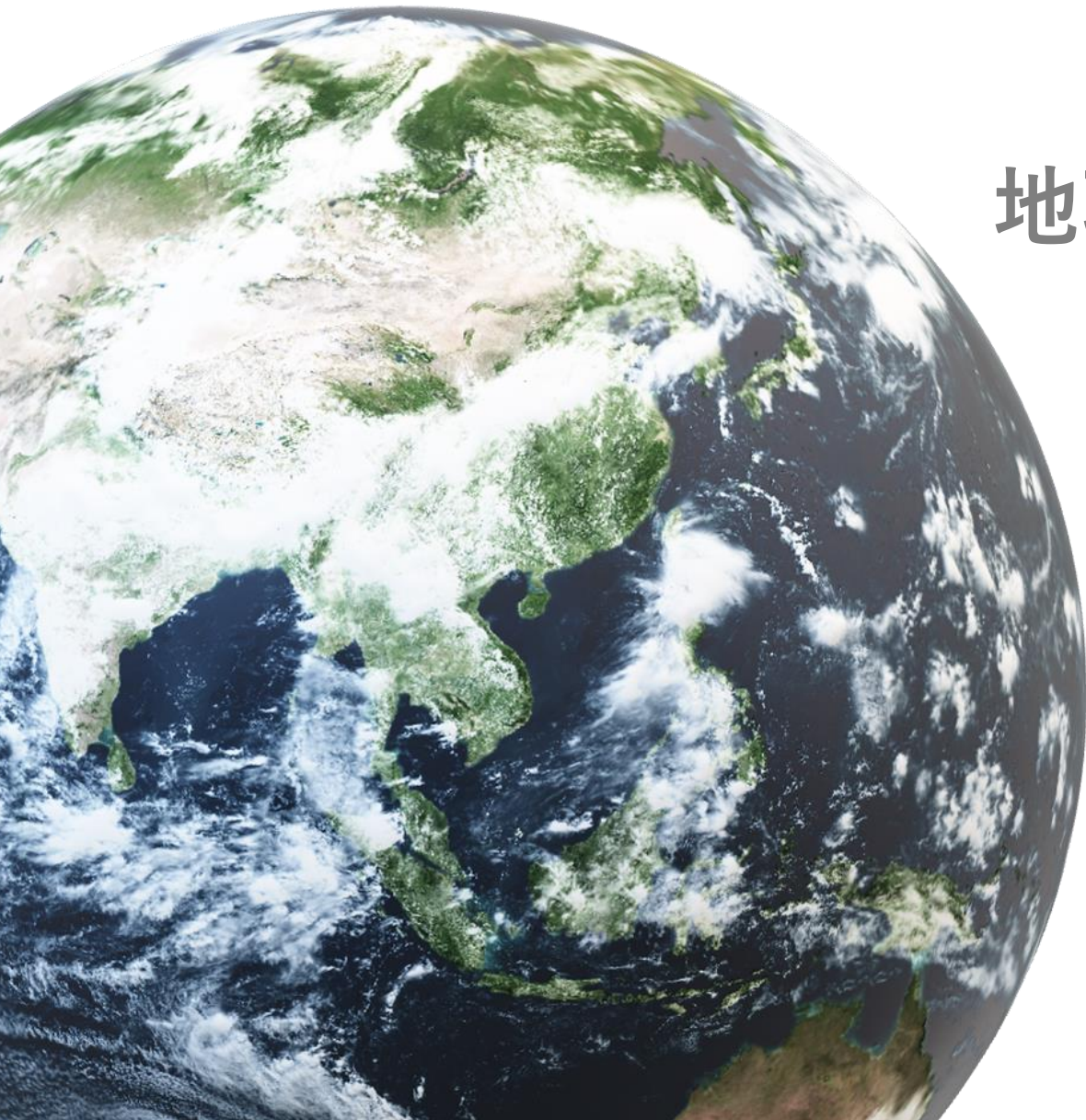


04

財務情報

Financial Information

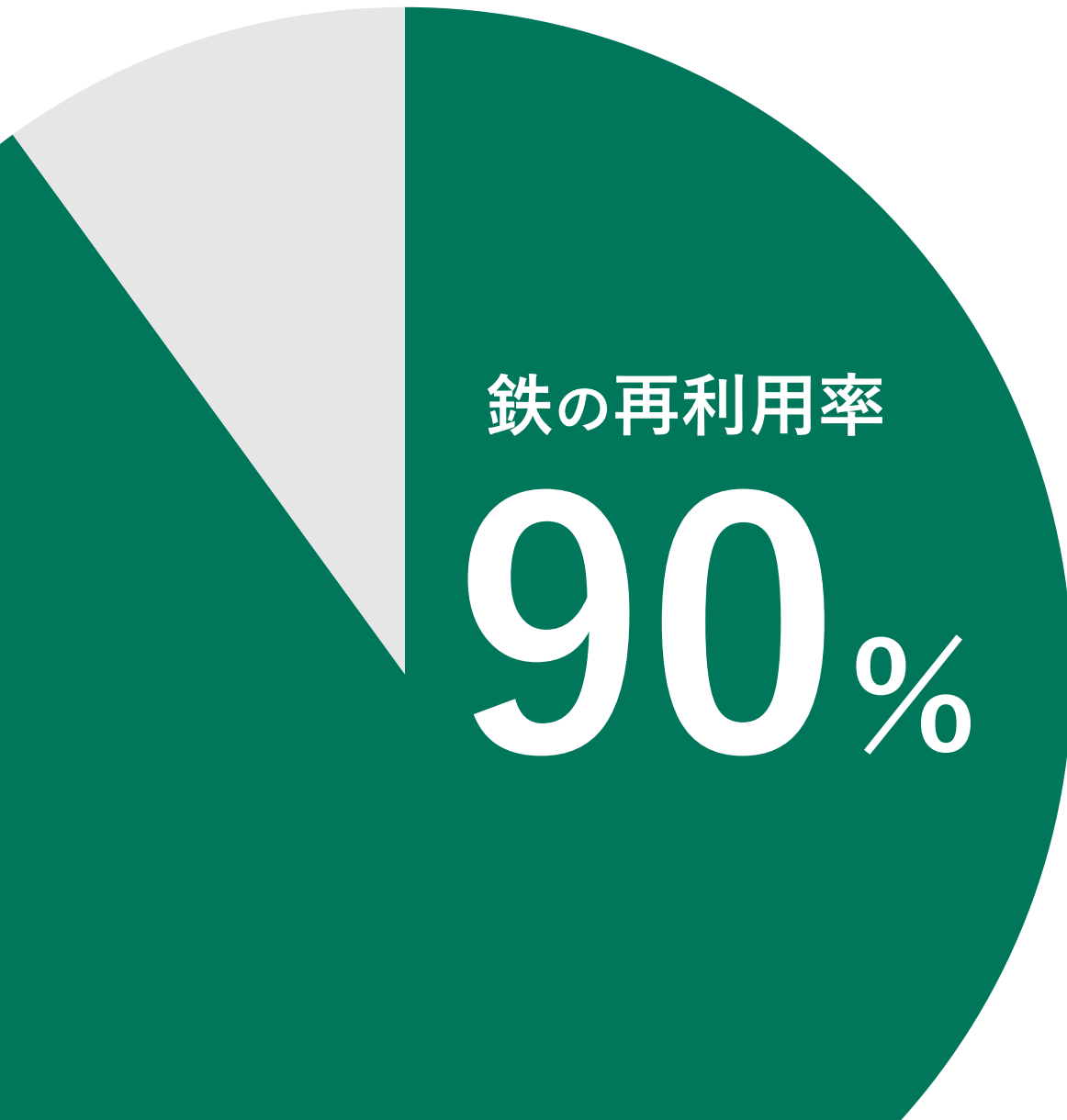




地球の重量の **35%** が鉄

(埋蔵量)	1位	鉄	2,300億ton
	2位	ボーキサイト	280億ton

- 豊富** ▶ 地球は鉄で出来ている
- 安価** ▶ どの金属よりも安い
- 加工性** ▶ 最も加工が容易な金属



最も活用されている金属であり、

半永久的に循環できる素材

土木・建築用の鉄製品などは

コスト面の優位性、また重量強度が必要である製品の為、

鉄以外の素材へ置き換えられる可能性は低い

鉄は強度が高く、加工がしやすいため昔から様々な製品に活用されてきました。
世界中で製造される鉄鋼製品の中で、代表的な製品群についてご紹介致します。

形鋼



断面が「H」や「山形」など一定の形に成形された鉄骨です。断面の形状により、H形鋼・山形鋼・I形鋼・溝形鋼等の種類に分かれます。高層ビル、物流倉庫や橋梁などの巨大な建築物の柱や梁の他、機械製品の製造に用いられるなど幅広い用途で利用されます。

軌条及び軌道用品



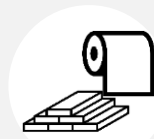
軌条とは鉄道の線路を指す言葉で、製品ではレールの事を表します。軌道は鉄道線路のうちレールが走る部分周辺に設置される構造物を指す言葉で、軌道用品にはレールを地面に固定する為の部材であるタイプレートや釘、分岐器などが含まれます。

棒鋼



鉄筋コンクリート造でコンクリートを支える芯となる、鉄筋材として利用される鋼材です。細長い円柱型で、表面にはリブと呼ばれる凹凸が有ります。

鋼板（薄板・中板・厚板・極厚板）



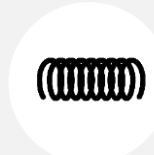
板状の製品。厚さにより薄板、中板、厚板、極厚板の4種に分類されます。薄板は自動車のボディや産業機器、鋼製家具の製造に利用され、中板等は船舶や鉄道車両の製造の他、橋梁などの建設用鋼材としても利用されます。

鋼矢板



サイドに継ぎ手が設けられた鉄の柱です。連続して土中に打ち込み、継ぎ手をジョイントさせる事で、止水性のある壁が構築できます。主に港湾や河川の護岸工事や土留めに利用されます。

線材

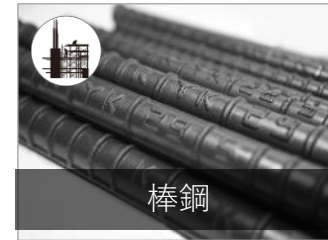
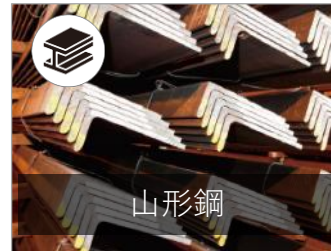


線状の細長い形状の製品。断面の直径は5mm～50mm程度で、コイル状に巻き取られた状態で出荷されます。主に針金や鎖、ばね、金網、釘、ボルト、ベアリングの材料として消費されています。

鉄鋼事業

日本/アメリカ/タイ/韓国/バーレーン/サウジアラビア/ベトナム

主力製品は断面が“H”の形をしている、H形鋼です。その他、鋼矢板、山形鋼、棒鋼等建設に用いられる鋼材を中心に製造しております。



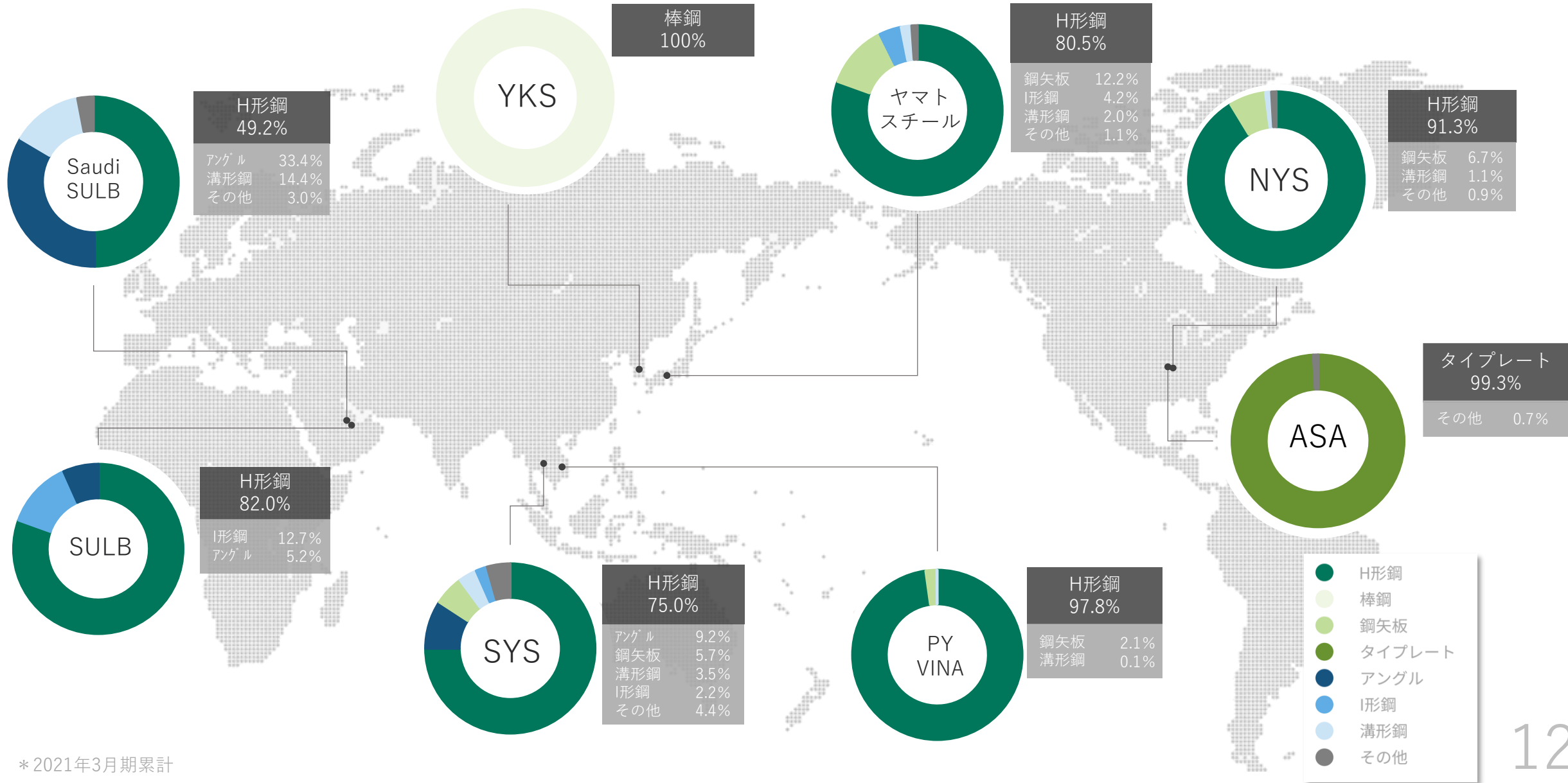
軌道用品事業

日本/アメリカ

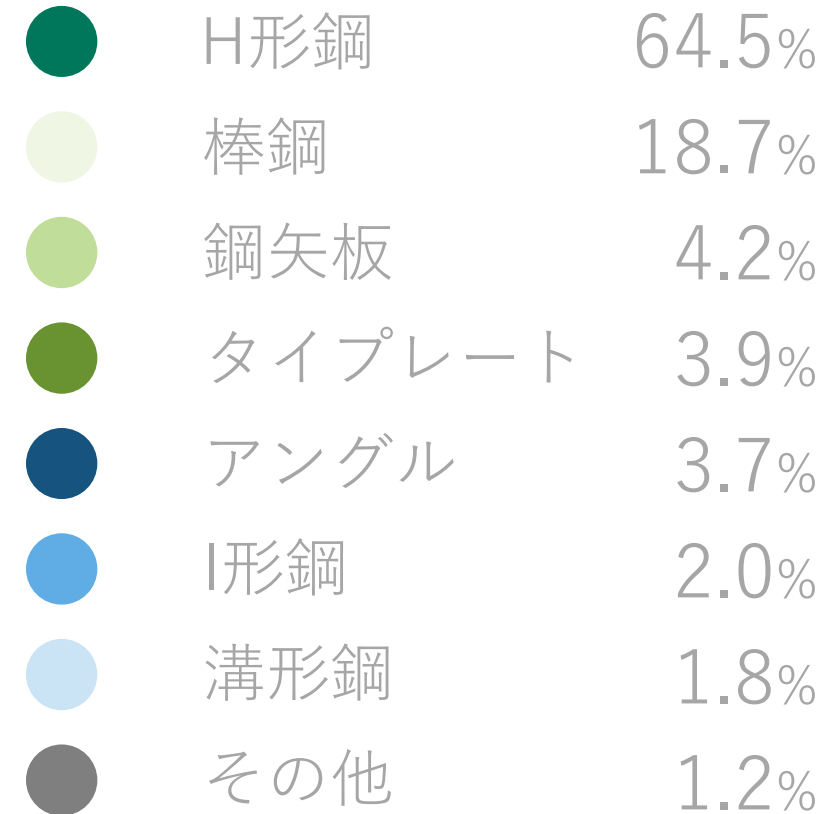
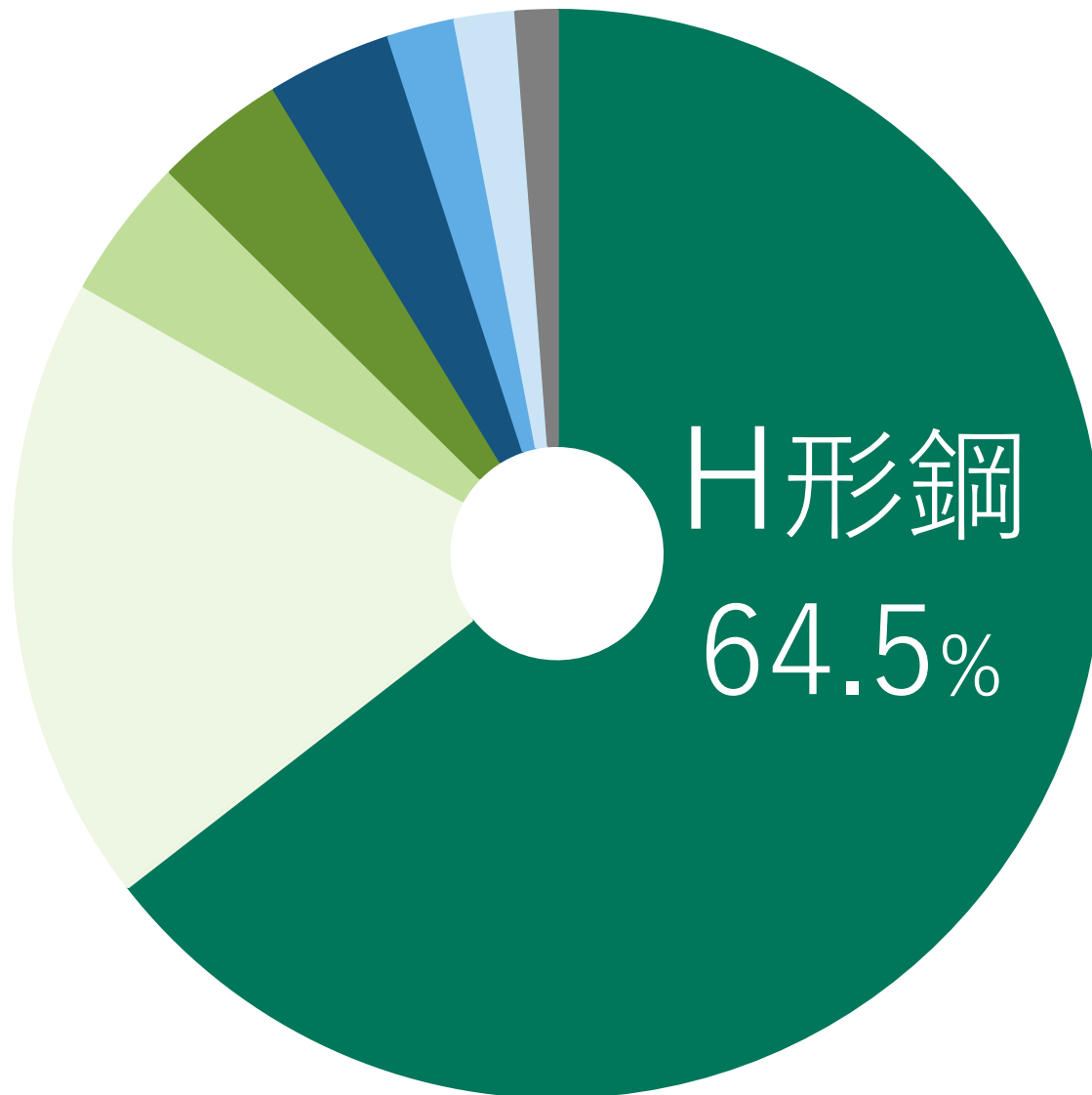
日本での主軸製品は鉄道線路を分岐させる装置である分岐器で、米国ではレールを固定する為の部材であるタイプレートが主軸の製品です。日本の事業では分岐器以外にも、地震対策用脱線・逸脱防止ガードの製造も行っております。



拠点別の製品構成



* 2021年3月期累計



* 持分比率を考慮せず各社販売数量の全量に基づく構成比(ビレット・ブルーム除く)

* 鉄鋼製品に限る

* 2021年3月期累計

主原料

製鋼工程

製鋼工程の特徴

高炉法

鉄鉱石

鉱山から採掘される天然の鉄石。日本は需要量の100%を輸入で賄っている。輸入先はオーストラリアやブラジル、南アフリカ共和国等。

高炉・転炉

製鉄用に加工された鉄鉱石と還元剤となるコークス等を高炉に投入し、燃料ガスを燃焼させて作った熱風を吹き付け銑鉄を製造。転炉で成分調整を行い溶鋼が出来る。

- ・ 大量生産の効率が良い
- ・ 鉄鉱石をコークスで還元する工程でCO2が発生する。
- ・ 休炉が難しく、市況にあわせての生産調整は困難

電炉法

鉄スクラップ

廃自動車や、建築物の解体現場から出たリサイクルの鉄。天然資源の少ない日本において数少ないの保有資源の一つと言われる。

電炉

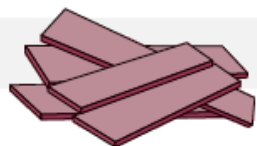
アーク熱と呼ばれる雷に似た放電を電気の力で発生させ、その放電熱によりスクラップを溶かし溶鋼を製造する。

- ・ 製造工程におけるCO2の発生率は高炉の約1/4
- ・ 市況に応じて、操業調整が容易に行える

鉄鋼製品の作り方 (代表例：電炉法/ヤマトスチール)

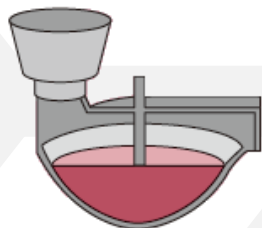
製鋼工程

スクラップ



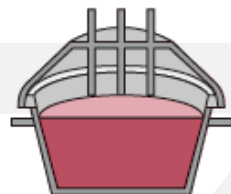
廃自動車や、建築物の解体現場から出たリサイクルの鉄。

電気炉



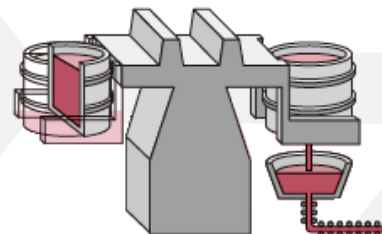
スクラップを投入し電気力で溶解。

取鍋製錬炉



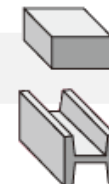
溶鋼を電炉から、バケツ状の取鍋に移し不純物を取り除く処理を行います。

ブルーム・ビームブランク
連続铸造設備



取鍋から溶鋼を連続铸造機の铸型に注ぎ、長い棒状の形に整えていきます。最終製品に合わせ、2種類の形状を製造します。

半製品

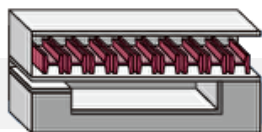


四角い形のブルームと、Hの形に近い形状のビームブランクが完成。次の圧延工程へ運ばれます。

ヤマトスチールではスクラップを炉の熱で投入前に温める装置も導入し省エネルギーでの溶解を実現しております。

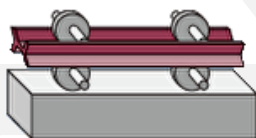
圧延工程

加熱炉



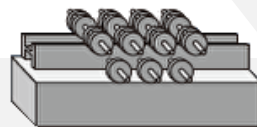
半製品を加工が可能な温度まで再加熱します。

圧延



再加熱した半製品を、最終製品の形に押し伸ばしていきます。形が整ったらカットし長さを整えます。

ローラー矯正機



圧延が終わった製品は、冷却床と呼ばれるスペースでいったん冷却した後ローラー矯正機で形状の最終調整を行います。

最終製品



大和工業グループの主力製品であるH形鋼を始め、条鋼と呼ばれる長細い製品はこの方法で製造しております。

検査を経て
お客様の元へ

環境にやさしい

電炉法は、スクラップが原材料なので高炉法のように原料収集にあたり天然資源の採掘を必要としないリサイクル事業です。製造工程におけるCO2発生率も高炉の1/4と、環境負荷がより少ない製造方法です。

01

生産量調整が可能

電炉は時間単位で稼働を調整することができるので、需給状況やお客様からのご要望に応じて柔軟な対応が可能です。

02

投資資金がコンパクト

新しく製鉄所をつくる場合、高炉では数千億円から1兆円レベルの投資資金がかかる一方、電炉は数百億円程の投資となり、新規設備投資を行う場合も投資資金が少なく済みます。

03

地産地消

電炉メーカーは原料であるスクラップを、主に近隣地域から集め、販売も基本的に近隣地域へ行います。大和工業グループの海外事業においても、一部輸入もありますが、地場のスクラップで製品を作り地場のマーケットに販売しています。

04



製造工程の省エネルギー化

日本の拠点であるヤマトスチールでは、より環境負荷の少ない設備を導入し、高炉法と比較してCO2発生率を **1/6**にまで低減させる事を実現。

また、タイのSiam Yamato Steelでは**太陽光発電**による自然エネルギーの活用や**廃熱利用**の促進などの環境対策を積極的に行い、グループ全体で省エネルギー・省資源化へ向け日々開発研究を重ねております



技術情報の共有

グループ各拠点の技術者が集まり、毎年技術会議を開催。各拠点の技術情報を共有し、拠点単位でなくグループ全体の技術力向上に努めております。



CONTENTS

01

会社概要

Company Introduction



02

事業紹介

Our Business



海外戦略

Our Global Strategy



03

04

財務情報

Financial Information





需要が堅実な市場や今後インフラ投資の伸びが期待できる新興国などに拠点を持ちその国の成長に寄与していくと同時に、成長の果実として収益を取り込んでいきます



海外進出にあたっては、現地の商習慣やマーケットに精通した企業をパートナーとし、大和からは製造技術を、パートナーからは現地での経営の知識を合弁会社に注入し、パートナーと共に合弁会社を発展させていきます

Nucor



アメリカ

米国最大手の鉄鋼メーカー。同社は大和と合併を組むまではH形鋼の製造を行っておらず、大和がH形鋼製造のノウハウを、Nucorが米国鉄鋼業界の知識をそれぞれ注入。2社で立ち上げたNucor Yamato Steelは1987年の立ち上げから現在に至るまで、競争の激しい北米マーケットに於いて順調に成長を続けております。

Siam Cement



タイ

同国における民族系では最大のコングロマリット。同社は大和と合併を組む以前より鉄鋼業界には進出しておりましたが、形鋼の製造は行っておらず、同製品の製造技術を持つパートナーを模索しておりました。同時期に形鋼の今後の需要増加を見込み東南アジア進出を検討していた弊社と、新規事業に対しての方向性が合致。立ち上げたSiam Yamato Steelは現在タイ国唯一の形鋼メーカーとして、東南アジアマーケットでの形鋼製品普及に貢献しております。

大韓製鋼



韓国

同国の鉄鋼業界で長年のキャリアを有する企業。2020年8月までは大和が100%出資でYK Steelの経営行っていました。競争力を一層強化し収益性の更なる向上を図る為、同国の鉄鋼業界に精通した戦略的パートナーとして大韓製鋼を迎え、両社の合併事業として運営を行っております。

Foulath



バーレーン

サウジアラビア

湾岸6か国の政府が均等に資金を投入し立ち上げたGulf Investment Corporation (GIC)が保有する、鉄鋼業界に特化した持株会社。中東における商習慣を熟知したパートナーです。

POSCO



ベトナム

韓国最大手の鉄鋼メーカー。同社はこれまで世界各国で薄板をはじめとする様々な鉄鋼製品の製造を手掛けてきた、世界有数の企業です。2020年に発足した同社との合併POSCO YAMATO VINA STEELへは大和だけでなく、東南アジア市場に知見のあるSYSからも出資。3社のシナジーを最大限に活かし、ベトナムでの需要捕捉を行ってまいります。

日本国内の需要確保を基本に、さらなる成長を求め鉄鋼需要拡大が見込める国へ製造拠点を展開してまいります



CONTENTS

01

会社概要

Company Introduction



02

事業紹介

Our Business



03

海外戦略

Our Global Strategy



財務情報

Financial Information



04

－2021年3月期－

安定性

Stability

Net Cash

1,228億円

流動比率

948%

自己資本比率

84%

収益性

Profitability

売上高

1,360億円

経常利益

215億円

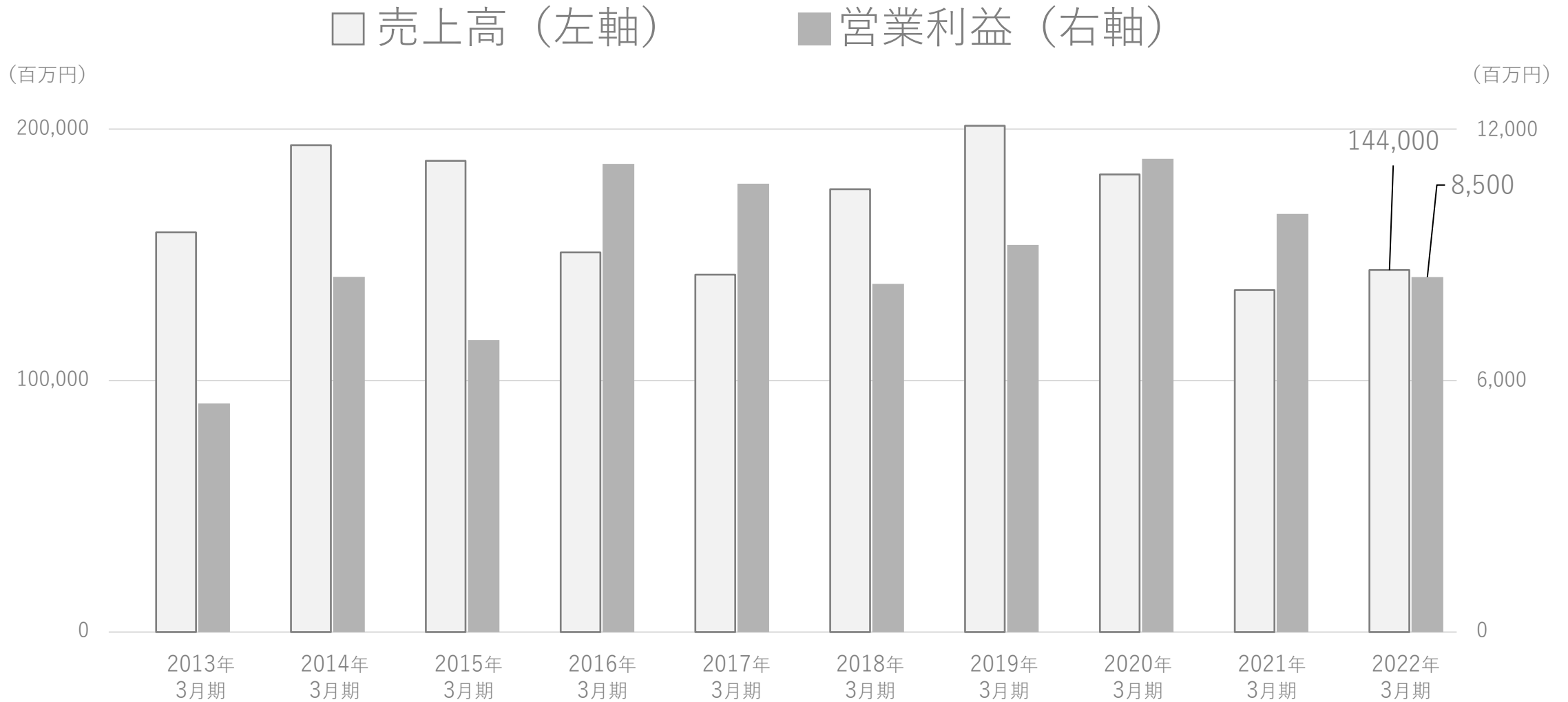
売上高経常利益率 (ROS)

15.9%

自己資本利益率 (ROE)

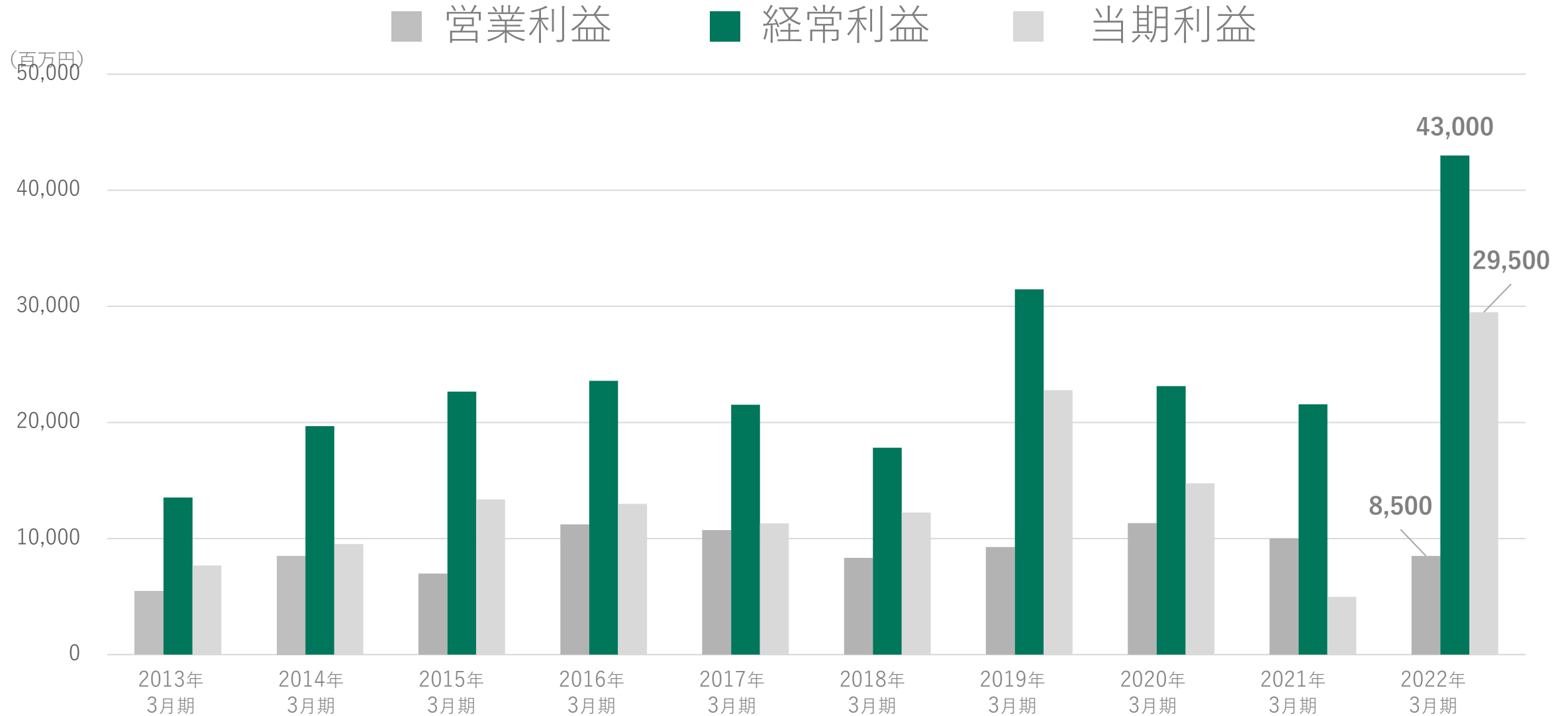
1.6%

連結業績の推移 ～ 1 ～



※22年3月期は、2021年8月2日時点の予想

連結業績の推移 ～ 2 ～



※22年3月期は、2021年8月2日時点の予想

業績に応じた利益配分を行う事を基本方針とし、**連結配当性向30%**を目途に
毎期の配当額を決定するとともに、**継続的かつ安定的な配当**の維持に努めます。

2022年3月期 年間配当予想（一株当たり配当金） ※2021年8月2日時点

中間配当（予定）	60円	[40円]
期末配当（予定）	60円	[40円]
年間配当（予定）	120円	[80円]

2021年8月2日の第1四半期決算発表で、2022年3月期の業績予想を上方修正
した事に伴い、配当予想も増額修正しております。

※[]内は2021年4月30日時点の配当予想

自己株式の取得は中長期的に株主価値を高める観点から、市場環境や事業投資機会などを総合的に勘案し、適宜実施することを検討してまいります。

最近の自己株式取得状況 ※2021年8月2日時点

2021年3月期

2022年3月期

【取得株式数】

100万株

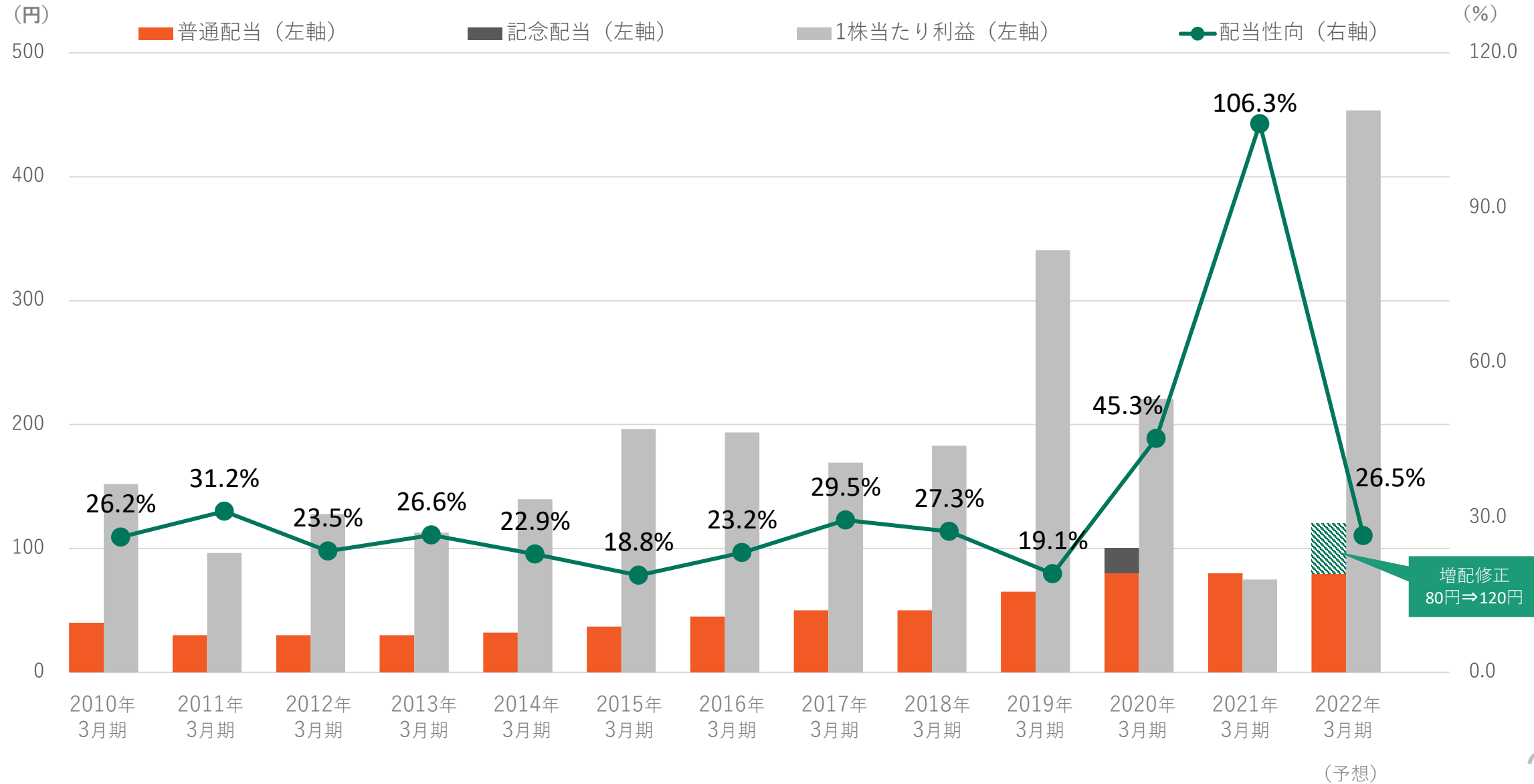
100万株

【取得価額】

2,580百万円

3,634百万円

連結配当性向の推移



More Information on...



CSR情報

大和工業のHP “CSR”のページにて、弊社のCSR活動についての情報や、環境への取り組みの詳しい内容をご確認頂けます。



公式Youtubeチャンネル

大和工業グループのYoutube公式チャンネルでは、これまでのCMや会社説明のムービーがご覧いただけます。迫力のある工場内の様子も会社説明ムービーでご覧いただけますので、是非アクセスください。

Youtube 大和工業

検索

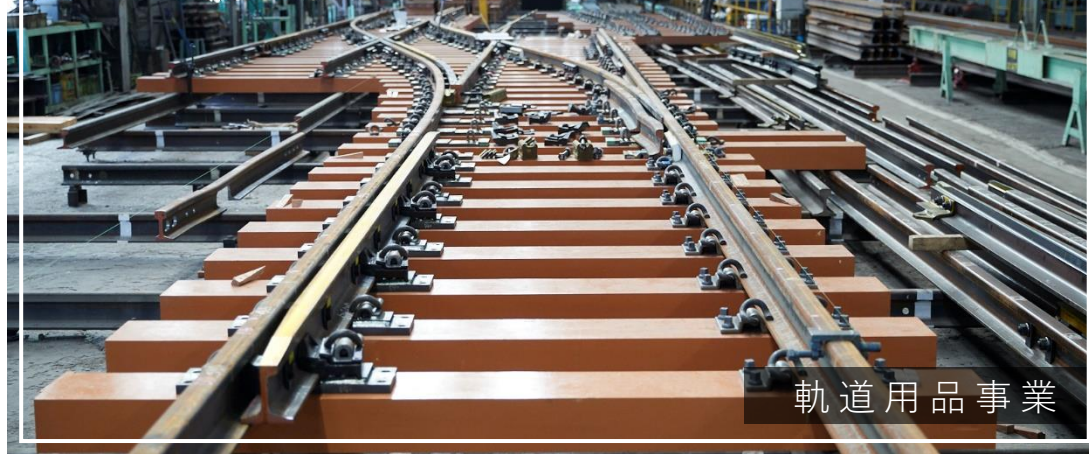




鉄鋼事業



重工事業



軌道用品事業

鉄で未来を 未来の鉄を



東証1部【証券コード5444】